

親子ふれあい体操

食べて、動いて、よく寝よう!

早稻田大学人間科学学術院 教授／医学博士 前橋 明
〒359-1192 所沢市三ヶ島2-579-15 TEL&FAX 04-2947-6902

〒359-1192 所沢市三ヶ島2-579-15 TEL&FAX 04-2947-6902

子どもの大好き
なあそび。喜ぶこ
とで楽しく感じ、
また、やりたいと
いう気持ちを起こ
させます。

親は、子どもの胸とももに手をあしし、子どもを持ち上げます。移動しながら、子どもを上下させたり、こわい・怖い・喜びます。



⑦足跳びまわり

親は両足を開いて座わり、子どもはその足の上を両足踏み切りで飛び越えて、親の背後をひと回りします。できたら、片足跳びや横跳び、後ろ跳びにも挑戦します。



⑥逆さロボット

子どもは、逆さになつて、親の足の甲の上に、手を乗せます。親は、子どもの両足首を持ち、少し引き上げて歩きます。



5 手おし車

子どもにとつて、腹筋や背筋、腕力を使うダイナミックな運動です。前進だけでなく、後ずさりもします。持つている足の高さを低くすると、バランスがますます悪くなります。



④ 口ボット歩き

親の足の甲に、子どもが乗
り、親子で手を握つていつし
よに動きます。前方や横方向
後ろ方向へと移動します。親
が大またで動くと、子どもは
大喜び。両足を広げて、また
さきだ！



③メリーゴーランド

③ メンテナント
子どもを抱っこして腰と背
中を手で支え、脇で子どもの
足をしっかりと挟み、クルク
ル回ります。上下させたり、
回る方向も変えてみます。

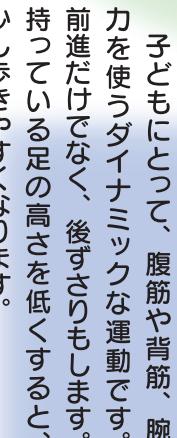


体操で
育つもの

巧緻性や平衡性、敏捷性などの調整力、筋力、空間認知能力、回転感覚や逆さ感覚、支持感覚の向上、親(保護者)と子のコミュニケーションづくりと情緒の開放、感動体験

部屋の中で行うときは、窓を開けて風通しをよくして行いましょう。体操が終わったら、手洗いやうがいをして、汗をしっかりふくようにしましょう。

では、親子ふれあい体操を紹介してみます。



⑧ 跳び越しへぐり

子どもは、座っている親の足の上を飛び越えた後、今度は浮かせた体（しり）の下をくぐり抜けます。



「力試しをしてみよう」と説いかけます。親は仰向けて寝て、足を垂直に立て、両手は床面につけて、足が倒れないように支えます。子どもは、その大木（親の両足）を倒すようにします。

⑩ 丸太たおし



- ① 子どもは、親の足をまといで立ちます。
- ② 親は両足を開き、子どもは跳んで両足を閉じます。
- ③ この動作を、声をかけ合いながら繰り返します。2人の呼吸とリズムの取り方がポイント。
- ④ 上達したら、子どもが親に背を向けて行ってみます。

体操はいいことがたくさん!

- お金をかけずに、体力づくりができる（体力向上）
- 道具も必要なく、体だけをつかって運動ができる
- 子どもが親をひとり占めできる（心の居場所づくり）
- 親が子どもの成長を確認できる
- ふれあうことで親子のコミュニケーションづくりに役立ち、言葉の発達につながる（社会性づくり）
- 遊び方を工夫することで、知的面の成長にもつながる（学力向上）

夜の運動はNG

夜に体を動かしすぎると、子どもは血液循環がよくなり、かえって眠れなくなってしまいます。仕事から帰ってきたお父さん、夜の運動あそびはぐーっとガマンして。体を使ったあそびは、朝起きてから行うのが理想的です。

早稲田大学人間科学学術院 前橋 明 研究室
(04-2947-6902)
所沢市子ども支援課
(04-2998-9124)
所沢市保育課
(04-2998-9126)

① 向かい合つて手をつなぎます。「ジャンケン、ポン」で、同時に足を使ってジャンケンをします。

② 親が勝つたら、手をつなぎます。

③ 子どもは、足を踏まれない

いように、ピヨン、ピヨン

ついたら、大人の足を踏みま

す。飛びはねながら逃げます。

⑬ ジャンケン足ふみ



⑭ 飛行機



③ 子どもは、足を踏まれない

いように、ピヨン、ピヨン

ついたら、大人の足を踏みま

す。飛びはねながら逃げます。

足ジャンケン



⑫ お尻りたたき

